



2020年6月5日

各位

会社名 株式会社 トップカルチャー
 代表者名 代表取締役社長 清水 秀雄
 (コード番号7640・東証第1部)
 問合せ先 取締役管理部長 遠海 武則
 T E L 025-232-0008

2020年10月期第2四半期(累計)業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年6月5日付の取締役会決議に基づき、2019年12月6日に公表いたしました2020年10月期第2四半期(累計)業績予想について、下記のとおり修正することとしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2020年10月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2019年11月1日~2020年4月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益(円)
前回発表予想(A)	15,400	155	126	107	8.85
今回修正予想(B)	15,964	343	376	324	26.87
増減額(B-A)	564	188	250	217	
増減率(%)	3.6	121.6	198.9	203.4	
(ご参考)前期実績(2019年10月期)	16,884	317	292	118	9.77

2020年10月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(2019年11月1日~2020年4月30日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益(円)
前回発表予想(A)	15,000	142	125	10.34
今回修正予想(B)	15,606	366	317	26.23
増減額(B-A)	606	224	192	
増減率(%)	4.0	157.8	153.6	
(ご参考)前期実績(2019年10月期)	16,543	300	127	10.55

2. 業績予想修正の理由

当社グループの軸である葺屋書店事業において、主力商品であります書籍と特撰雑貨・文具の売上高が好調であり、中でもコミックや児童書・学習参考書や衛生用品、ホビー用品(アナログゲーム・パズル等)の販売が寄与しました。結果、売上高全体では前回予想を上回る見込みとなりました。

利益面におきましては、売上高の増加に伴い、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益とも前回予想を上回る見通しとなりました。個別業績につきましても同様です。

第3四半期以降においては新型コロナウイルスの感染拡大の影響も想定され、今後の当社グループの業績に与える影響が不透明であり、現段階では通期業績予想については、2019年12月6日に公表した数値を据え置いております。

なお、2020年10月期第2四半期の決算発表は2020年6月12日(金)を予定しております。

トピックス

※5月の当社既存店売上高の前年比は133.5%増収となりました。書籍140%、特撰雑貨・文具170.2%と増収でした。

一方では、販売用CD52.4%、レンタルサウンド60.3%と減収いたしましたが、これは新型コロナの感染が広がり始めた3月以降も、3ヶ月連続で減少しております。

(注)業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

以上